

講義ユニット名	器官の構造と機能		所属科目名	人体構造学
講義ユニット 責任者	あいざわ ひでのり 相澤 秀紀	所属	神経生物学 (内線 5115)	
		メール	haizawa@hiroshima-u.ac.jp	
授業方法	講義(講義補助用プリント配布)・実習 講義の最後にスライドにて実習標本を供覧			
概要	医師となるために必要な解剖学的知識の習得にむけて、人体を構成する各器官(中枢神経系を除く)の細胞・組織構築について理解することを主な目標とする。			
講義ユニットの 到達目標	<p>骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能を説明できる。</p> <p>血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。</p> <p>心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。</p> <p>心筋細胞の電気現象と心臓の興奮<刺激>伝導系を説明できる。</p> <p>骨髄の構造を説明できる。</p> <p>脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer(パイエル)板の構造と機能を説明できる。</p> <p>赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。</p> <p>白血球の種類と機能を説明できる。</p> <p>血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。</p> <p>歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。</p> <p>食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。</p> <p>肝の構造と機能を説明できる。</p> <p>膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。</p> <p>気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。</p> <p>肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。</p> <p>甲状腺と副甲状腺<上皮小体>から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。</p> <p>女性生殖器の形態と機能を説明できる。</p> <p>男性生殖器の形態と機能を説明できる。</p> <p>精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。</p> <p>陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。</p> <p>腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。</p> <p>腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。</p> <p>皮膚の組織構造を図示して説明できる。</p> <p>皮膚の細胞動態と角化、メラニン形成の機構を説明できる。</p> <p>乳房の構造と機能を説明できる。</p> <p>眼球と付属器の構造と機能を説明できる。</p> <p>視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。</p> <p>外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。</p>			
講義日程	別紙日程表を参照のこと			
出席の取り扱い	講義について；出席状況把握システムにて毎講義出席をとる。 講義の出席が3分の2に満たない学生については試験を受けられない。 実習について；実習の欠席は、原則として認めない。			
評価項目	到達目標の達成度(基本的理解と知識の応用)			
評価法	講義の終了後に筆記試験を行う。評価は筆記試験の結果を中心として、授業後の小テストや実習における提出レポート、講義への参加態度などを踏まえて総合的に評価する。			
履修上の注意 アドバイス	講義と実習を対にして進めるので、知識を整理して実習にのぞむこと。			
推奨参考書	人体の正常構造と機能(第2版 全10巻縮刷版、日本医事新報) 最新カラー組織学(西村書店)			